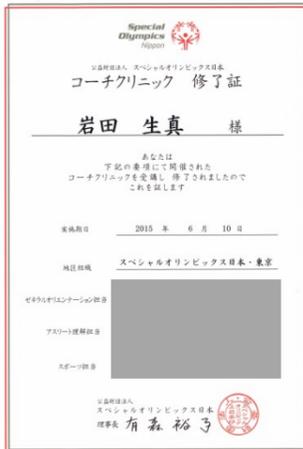


地域での活動

スペシャルオリンピックス・バレーボール

6月10日(水)、スペシャルオリンピックス(*1)のコーチクリニック(ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解)を受講しました。コーチクリニックの受講は、**東京でのバレーボール・プログラム立ち上げ**に際して平成17年に受講して以来となるので、10年ぶりになります。



この間、バレーボール・プログラムの主任コーチとして約10年活動してきました。そうした経験を踏まえて改めて受講すると、普段の練習とすぐに比較できるので、自身の練習メニューやアスリート(*2)との接し方について、振り返るのに役立ちます。**現場で日々取組みながら、定期的に理論を確認する**。どのような取組でも、この2つのバランスを取りながら、行っていききたいと思います。

(*1)スペシャルオリンピックス...知的障害のある人達に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織

(*2)アスリート...スペシャルオリンピックスのスポーツ活動に参加する知的障害のある人

久我山ホテル祭り

6月6日(土)・7日(日)、第20回久我山ホテル祭りが開催されました。

今年も昨年同様、**幼稚園チームパパ(おやじの会)の現役・OB有志約30名で出店**。

事前の準備は数名の幹事で行っていたため、多くのメンバーは「当日参加・その場で役割分担」という形での運営。にもかかわらず、臨機応変に対応し、自ら動く方達が集まっているので、急きょ「出前サービス」を行ったりと、改めて「**父親達の底力**」を**実感**した日々でした。

また、会場の事前設営・事後の撤収では、平日の夜にもかかわらず、それぞれ10名以上のメンバーが仕事の後かけつけてくれました。

自分達が楽しみながらも、「**子供達のために**」「**地域のために**」という**想いを持つ人達が力を発揮できる場づくりに、これからも積極的にかかわっていき**たいと思います。



次回の定例区議会(平成27年第3回定例会)は、9月10日(木)開会予定です。

区政に関する意見交換会開催 (入場無料)

- 第63回 8月26日(水) 19:00~20:30 久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室
- 第64回 8月29日(土) 13:30~15:00 高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第九集会室

意見交換会の内容

- 新生議会の構成
- 区政に関する自由な意見交換

今期最初の意見交換会ですので、新しい議会構成について説明させていただいた後は、テーマを絞らず区政について自由にご意見を頂戴したいと思っております。

ぜひご参加ください。



区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告 第47号(平成27年夏号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成27年5月より4期目。
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(12歳)、長女(9歳)、次男(7歳)。

4月に行われた区議会議員選挙におきまして、皆様方よりお力添えを頂きましたこと、心からの感謝を申し上げます。

皆様からいただいた今後の四年間、杉並区をより良くするために邁進し、皆様のご付託にお応えして参りたく存じます。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



選挙結果

<岩田いくまの得票結果>

得票数:2,608票(前回:2,442票)

得票順位:32位(前回:37位)

<参考>

立候補者数:70名, 当選者数:48名

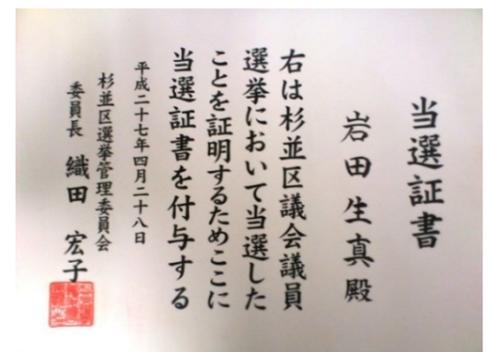
<区全体の投票結果>

当日有権者数:451,579人

投票率:40.12%(前回:39.82%)



前回より多少Upしたとはいえ、**投票率が40%**にとどまったのは、非常に残念に思います。少しでも身近な政治に興味をもっていただけるよう、日々の情報発信に引き続き取り組んでまいりたいと思います。



所属会派

議会及び議員のあり方や区長の区政運営への対応、及び政策の方向性を私なりに検討し、私を含む6名の議員で「**自民・無所属・維新クラブ**」を結成しました。また、会派の副幹事長に就任しました。

なお、これは杉並区議会内での活動(所属会派)であり、政党に関しては、私は引き続き**無所属**です。

所属委員会

都市環境委員会、道路交通対策特別委員会及び議会運営委員会に所属しました。

なお、**都市環境委員会では、委員長職を担うこと**になりました。



定例議会最終日の6月16日(火)、都市環境委員会委員長として、委員会における議案審査の経過及び結果報告を、本会議にて行いました。

スポーツ振興議員連盟

前期に引き続き、杉並区議会スポーツ振興議員連盟が立ち上がりましたので、メンバーとして参加することになりました。
 会派を超えて30名が参加する議員連盟ですので、立場を超えてスポーツ振興を図ることができればと思っております。
 また、自身がPTAの一員であること(P. 3参照)や、日頃から障害者スポーツに関わっていること(P. 4参照)も活かして、**小中学生のスポーツ活動活性化**や**障害者スポーツの活性化**に向けて何ができるのか、考えていきたいと思っております。



杉並和泉学園落成式



杉並和泉学園の学校パンフレットから抜粋

6月27日(土)、杉並和泉学園の落成式が行われました。
 当学校は、**杉並区立としては初となる、施設一体型小中一貫校**です(新泉小学校と和泉小学校を新泉和泉小学校として統合し、和泉中学校とあわせて小中一貫教育校となりました)。
 小学生と中学生の日常的な交流が図れるよう、小中共通の図書館・パソコンルーム等を備えた「ラーニングセンター」が配置されています。
 また、小中の教員が連携し合うため、小学部と中学部の職員室はひとつにまとめられています。その他、特別支援学級(知的障害)も小学部・中学部ともに設置されました。

小中一貫校の特徴である「**義務教育9年間の学習をすべて一続きの流れとして捉える**」ことで効果を引き出す一方、**中学進学という節目を経て育まれる自覚をしっかりと育てる**ことができるよう、和泉学園での取組みに今後も注目していきたいと思っております。

高井戸公園説明会

5月22日(金)、(仮称)高井戸公園の工事説明会が、東京都東部公園緑地事務所により行われました。
 既に旧NHKグラウンドを含めた公園用地部分は、5月17日をもって閉鎖されており、今後工事を進めながら、平成30年度以降、平成34年度までかけて順次開園予定とのこと。

工事の安全を確保することは大切ですが、一方で「工事期間中、可能なエリアだけでも部分開放してほしい」という声は当然地域に存在します。
 地元自治体の議員として、「**可能な範囲での部分開放**」について、**今後も訴えていきたい**と思っております。



昨春の旧NHKグラウンド (仮称・高井戸公園の一部)

身近な健診拠点

6月26日(金)、同会派の議員2名と、**セルフ健康チェックサービス**を提供する「ケアプロ株式会社」の荻窪タウンセブン店を視察しました。
 ここで提供されているサービスは、自己採血による血糖値等の測定や、機器を活用した骨密度や血管年齢の測定。個々の検査は、時間は3分~10分程度、価格は税別で500円~2,000円となっています。
 自己採血検査について、かつては法的位置づけが不明確との見方ありましたが、昨年の厚生労働省告示等により、「検体測定室」として事業展開が可能となりました。
「身近な健診拠点の拡充」は、私の公約のひとつでもあります。健康な生活を出来るだけおくることができるよう、官民間問わず、こうした取組みは注目していきたいと思っております。



小学校・中学校の学校公開

区立小・中学校の現役PTAという立場を活かし、学校教育の現場へは出来るだけ足を運ぶようにしています。

6月13日(土)、子供達の通う区立小中学校がともに「学校公開」を行っておりましたので、見学に行きました。

小学校では、通常の授業ではなく、年に1度の“おまつり”が行われていました。
 これは、中高学年(3年生~6年生)が、クラス毎に考えた「お店」を出店し(お化け屋敷やボーリング、箱の中身をあてる「はてなボックス」等)、全学年の児童や保護者がそれぞれの「お店」をまわる、というもの。
 校舎全体が子供や保護者ですごい賑わいでした。勉強と行事のバランスは難しいと思いますが、こうした「**プロジェクト**」を通じて**協力関係を学んでいくことは、子供達にとっても非常に有意義なこと**だと感じます。



中学校では、通常の授業を見学。
 まず小学校との違いで感じたのは、**参観する保護者の人数が非常に少ない**こと。
 また、授業のテンポがよいこともあって、「**学問をしている**」という雰囲気教室から感じられました。
 その他、生徒の呼名方法が小学校とは異なる等、改めて「**小学校と中学校の違い**」についても実感しました。
 中学生という多感な時期を、生徒各々が自己を確立していく有意義な期間とするために、**保護者として、地域の大人として、そして区政に携わる者として何をすべきか、よく考え、行動していきたい**と思っております。



中学校体育祭

5月23日(土)、中学校で行われた体育祭を見学しました。
 ここでも、保護者の人数で小学校との違いを実感。小学校より少ないのは当然ですが、特に男性保護者(父親等)の数が少ないと感じました。
 子供の成長度合いに応じて、ということもあるでしょうが、多感な時期の親子(父子)の関わり方について、考えさせられます。
 体育祭自体は、中学生ならではの迫力があり、また、進行も生徒中心に手際よく進められていました。
 小学校での行事には、ゲストティーチャーとして10年超かかわってきました。一方、**中学校での行事については私自身接点が少なかった**ので、**これから着実に把握していきたい**と思っております。



中学校バレーボール大会

6月21日(日)、杉並区中学校女子バレーボール大会(決勝トーナメント)を見学しました。
 自身の学生時代を振り返っても、中学・高校時代、学校生活の中心は部活動でした。
 いかに部活動を活性化していくかを考えるとともに、現在は、部活動よりクラブチームでの活動が活発な競技もありますので、部活動に限定せず「**生徒のスポーツ活動全体**」をどのように**支援していくのか、改めて考える時期**に来ているように思います。
 あわせて、部活動が「顧問の先生」に支えられている現状を尊重する一方、生徒が多様な人間関係をつむぐためにも、**地域人材や専門家による「部活動指導」**について、**引き続き考えていきたい**と思っております。



教育については、誰もが経験してきているため、一家言をお持ちのことと思います。
 私は、時代を問わず教育に求められるものがある一方で、社会環境の変化に伴い、私達が子供の頃とは教育に求められるものも変わってきていると考えております。
過去の経験に頼った観念論に陥らず、今の現場をきちんと見た上で、現在の、そしてこれからの教育に何が必要か、引き続き考えていきたいと思っております。